

事業名	視覚障害者援護費			調査番号	39
細事業名	点訳・録音等奉仕員研修事業費	財務コード	080705		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3212			

事業の概要

実施期間	始期 S40 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 点訳・録音等奉仕員	その対象をどのような状態にして 資質の向上が図られている	結果、何に結びつけるのか 視覚障害者に対する正確な情報提供
	事業概要 点訳奉仕員、録音等奉仕員に対する研修の実施 ・委託先:(福)山梨ライトハウス ・点訳研修、録音リーディング研修、写本研修、合同研修		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	目標	61	61	61	61	61	61	61
	実績(見込)	61	61	61	66	61	61	
	達成率	100.0	100.0	100.0	108.2	100.0		
	達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		517	517	517	531	531	531	531

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	研修を受けた奉仕員からは、高度な音訳技術や新しい点字法規を学習することで点訳・音訳の作成を正しく、迅速にできるようになり、情報提供がより正確になったとの評価がある。また、点字図書館蔵書の利用者からも山梨の点訳書は読みやすく、音訳書は聴きやすいとの評価がある。 奉仕員の資質の向上が図られることによって、視覚障害者が正確な情報を得られることができていることから、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

判断 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い	説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判断 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない 説明 点訳奉仕員等のスキル向上が図られることで、図書の点訳精度等が上がり、視覚障害者に対する正確な情報提供が図られる。
判断 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	説明 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり)
その他	説明 類似の事業(点訳・録音奉仕員の養成事業)を実施しているが、同一の法人に別途委託している。
見直しの必要性	有 奉仕員の研修事業とは別に養成事業を委託しているが、これら2事業を統合して委託契約する等、実施方法の変更を検討し、事業の効率化を図っていききたい。

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明 本事業と点訳・録音等奉仕員養成事業を同一契約にて委託し、事務の効率化を図る。
----------	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。